



NPO 法人東京 YWCA 福祉会 通信

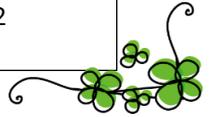
10号

2021年8月

特定非営利活動法人東京 YWCA 福祉会

<事務局>〒174-0043 板橋区坂下 1-34-25 公益財団法人東京 YWCA
板橋センター内 TEL03-5914-1854 FAX03-5914-1852

URL <https://ywca-fukushikai.tokyo/>



Y's ホーム ハイホー 共同生活援助（グループホーム）

開設から丸5年が経ちました

身体障がい、発達障がい、知的障がいのある男性7名を対象とした
Y's ホーム ハイホーは、皆様からの温かいご支援のもと、
2016年2月1日の開設から丸5年が経ちました。

入居者を代表して、小原康幸さんに5年間を振り返って頂きました。



「ハイホーと僕との5年間」

僕がハイホーに入居して5年になります。最初は、家族と離れて生活をできるのか？そもそも生活が成立するのかわからない面が多くありました。しかし、ハイホーは、それぞれにあった生活を家族・ハイホーと一緒に考えてくれる場面や話し合いの場所を多く提供して頂き安心していきます。

1人暮らしをしたいと思いは、昔からあり、家族と口論・喧嘩してきました。そこで福祉園から話を伺って応募してみた感じです。出来ないことをどうやって工夫していくのかを考えました。

1人では、大変な洗濯物を干すこと・自分の部屋を掃除すること・持ち物を管理することなど数々あります。家族に対しては、ハイホーで生活をしていくから安心してといつも伝えていきます。たとえ、不安を抱えていたとしてもサポートしてくれる体制をしっかり整えてくれます。

最後にハイホーの仲間について書いてみます。それぞれの障がい・特性は、あります。しかし、個人力をいかせる方法・手段を考えていけば、安心につながっていくと思います。

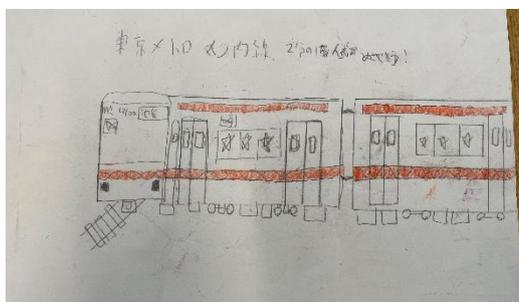
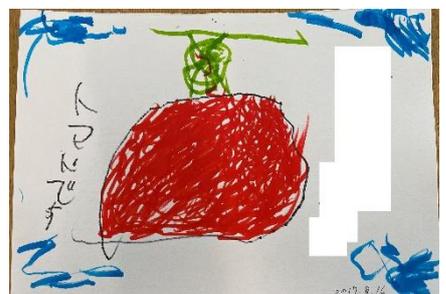
また、さまざまな訓練などで個々の力を存分に発揮してもらって助かっています。

ハイホーのみんなありがとう。

(小原 康幸)

ハイホーギャラリー

アート活動で描いた
入居者の皆さんの作品です



Y's ホーム ハイホーの最近の様子

私がハイホーに勤め始め早いもので5年の月日が経ちました。

最近のハイホーの様子ですが月一度の「ハイホーミーティング」(利用者全員が集まって話し合うミーティング)で新型コロナ禍でも楽しめる事は何だろうと話し合いました。各々から色々な意見が出る中、「外には行けないけど出前なら可能ではないか」という意見に皆が賛同。皆の予定を合わせて先日、出前パーティーが実現しました。

感染対策に留意し、テーブルを離し、パーテーションで1人ごとに区切りながらとなりましたが、寿司とケンタッキーを皆が美味しいと言い合いながら、久しぶりのイベントを楽しむことができました。

世間では新型コロナが猛威をふるう中、ハイホーの面々は明るく前向きに生活できています。

3月から職員の入れ替わりに伴いサービス管理責任者となりました。新しく覚える事も多く大変なことも多いですが周りの職員や利用者に助けてもらいながら、前任者のように利用者皆に信頼されるようなサービス管理責任者を目指して頑張っていければと思います。(サービス管理責任者 山本 恭兵)

Y's コート ゆい 就労継続支援 B 型 (働く場)

今年度、ゆいには板橋特別支援学校を卒業した2人が新たに加わりました。

東京都では緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の期間が交互に続く中、地域などでのイベント出店ができず、手作りの自主生産製品(ブローチ、ブレスレット、油処理パッド「吸い取るゾウ」)の販売が思うようにできず歯がゆい思いをしています。

カフェ JOY のお弁当販売はすっかり地域の中で定着し、連日多くのお客様にご利用頂いています。また、7月5日(月)～9日(金)にはカフェ JOY の前のスペースにテントを張って「七夕セール」を開催。自主生産製品や中古雑貨等を販売しました。「七夕セール」では、製品を販売して利用者の工賃となる収益を得られたことはもとより、元気に「いらっしゃいませ!」「ありがとうございました」と声をかける利用者たちからは、久しぶりにお客様を前に接客をすることができた喜びや自分たちが作った作品を買ってもらえた達成感が感じられました。



新たにアクリルたわしの製作を
始めました



油処理パッド「吸い取るゾウ」のための紙パックの千切り作業。皆、集中して取り組んでいます。仕事と休憩のメリハリをきちんと付けることができている、休憩時間になるとリラックスした笑顔が見られます。

カフェ JOY

お弁当・プチデザート販売

月～金(祝日お休み)
11時30分～13時30分
(完売になり次第終了)
※店内イートインスペース有

坂下ゆい商店

手作りアクセサリ (ブローチ・ブレスレット) 販売中

「吸い取る小ゾウ」好評販売中
普段のお料理の油処理に
ちょうど良いサイズです

軽作業ご依頼ください

封入・シール貼り・
DM等挟み込み、分別 etc.
承ります。

これらの収益が「Y's コート ゆい」利用者の工賃(お給料)になります。応援をお願いします!

秋・冬、クリスマスに向けたデザインのブローチを製作中です。
どうぞお楽しみに!



<2020 年度事業報告> 2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

事業名	Y's コート ゆい	Y's ホーム ハイホー
事業内容	<p>「Y's コート ゆい」では、発達障がい、知的障がいのある利用者(年間平均実人数 14.5 名)へ、「カフェ JOY」での作業、受注作業、自主生産品の製作作業を通して、就労に必要な支援を行った。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令により 4～5 月は在宅支援を中心に支援を行った。</p> <p>地域のイベント等の中止により販売機会が減少したが、カフェ JOY での弁当販売等の新たな取り組みにより、利用者の就労機会及び工賃の確保に努めた。</p> <p>また、利用者が就労や社会生活で必要となる技能を得ることを目的に、SST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)を行った。一人ひとりの個別のニーズに応じた支援を行い、一般就労を希望する利用者には求職活動を支援し、一般企業に 3 名が就職した。</p>	<p>「Y's ホーム ハイホー」では、身体障がい、知的障がい、発達障がいのある 7 名の入居者の生活支援に当たった。支援に当たっては、家族や関係機関との連携を丁寧に行った。新型コロナウイルス感染予防のため、外部研修への参加はできなかったが、月 1 度の職員会の他、事業所内での研修に力を入れ、職員養成に努めた。</p> <p>緊急事態宣言期間中及び通所・通勤先での新型コロナウイルス感染による利用者の通所・通勤自粛の対応のために日中も支援に当たる等、新型コロナウイルスへの対応と感染予防に努めた。</p>
利用者数	14.4 名(年間平均)	7 名
職員数 (3 月現在)	8 名	8 名
(内訳)	施設長：1 名 (Y's ホーム ハイホー兼務) サービス管理責任者：1 名(常勤) 職業指導員：5 名(常勤 1、非常勤 4) 生活支援員：1 名(非常勤)	施設長：1 名 (Y's コート ゆい兼務) サービス管理責任者：1 名(常勤) 世話人：2 名 (常勤 1、非常勤 1) 生活支援員：4 名(常勤 1、非常勤 3)
事業費(支出) の金額 (千円)	24,221	31,048

<2021 年 7 月 6 日 総会報告>

出席者数：出席者 10 名 (内 ZOOM 参加 3 名)、
委任状 14 名 <正会員数 29 名>

時間：10 時 30 分～12 時

以下の議案について審議を行いました。

- ・2020 年度 事業報告および決算報告 ⇒承認
- ・2021 年度 事業計画および予算 ⇒承認
- ・次期(2021 年度～2022 年度)役員選任 ⇒承認

総会での承認を受けた役員(理事・監事)は以下の通りです。

<2020 年度～2021 年度 理事監事>任期：2022 年開催の総会まで

理事10 名 ★印：新任

池上 三喜子 市川 由美子 坂口 和子 川戸 れい子

田中 孝代 土岐 祥子 新田 和子 八東 嗣也 山下 雅範

横田 千恵子★

監事2 名 今 悦子 蛭原 まゆみ★

<理事長交代のお知らせ>

7 月 13 日に開催した理事会において、理事長・副理事長が以下の通り選任されました。

理事長：新田 和子

副理事長：栗林(坂口) 和子

<「坂下ゆい商店」の商品を購入して応援してください>

手作りアクセサリー(ブローチ、ブレスレット)、アクリルたわし、吸い取るゾウを販売しています。

◆以下のところで購入できます◆

カフェ JOY	店内でご自由にご覧いただけます。	
都営三田線「高島平駅」	「スマイルマーケット高島平駅ナカ店」(西口改札外)にて 2019 年 12 月より常設販売しています。(開店時間：平日 11:00～19:00)	
KURUMIRU (くるみる)	東京都庁店 (パスポートセンターそば)	常設販売です

募金活動のお礼

多くの方から温かいご支援を頂きました。心より感謝申し上げますとともに、ご報告申し上げます。

2020年12月11日～2021年7月31日の期間にご寄付頂いた皆様（敬称略・五十音順）

個人			物品寄付
市川 由美子	佐々木 浩子	鳥海 百合子	清宮 由美
岡 榮子	島崎 真奈美	新田 和子	関根 律子
小原 優子	杉浦 孝夫	町田 洋子	長谷川 孝一
加藤 知子	鈴木 大知	宮本 久子	長谷川 初枝
葛生 禎子	関森 紀代子	横川 明夫	
近藤 充	外崎 弘子	匿名 2名	

寄付金合計： 658,555 円

ご支援をお願いいたします

○NPO 法人東京YWCA福祉会の**会員になる**⇒屋台骨である、組織を支えることにつながります。

- <会員の種別> 正会員(個人) 年会費 3,000 円
正会員(団体) 年会費 5,000 円
賛助会員(個人・団体) 年会費 1口 2,000 円

※正会員は、総会における議決権があります。
※会員は、年度制です(4/1～3/31)。

<入会方法> 入会申込書の提出と、年会費のお支払が必要となります。
事務局までお問合せください(TEL 03-5914-1854)

○ご寄付のお願い

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染状況と新たな情報、またそれらを受けて変わっていく国・都の方針に対応しながら、利用者の働く・暮らすを含めた生活を支えるために尽力しています。皆様のご支援をお願いいたします。

<方法> 【現金】 事務局(東京YWCA板橋センター内)にてお受けします。

【銀行振り込み】 ・東京信用金庫 **志村支店(普) 4062567**
・三菱UFJ銀行 **志村支店(普) 0194008**
・ゆうちょ銀行 **10010 31108311**

口座名義：「特定非営利活動法人東京YWCA福祉会」

トクヒ) トウキョウ ワイダブリューシーエー フクシカイ

*お振込みの場合、払込時の控えをもって領収証に代えさせていただきます。

寄付金控除制度の活用をお考えの方は、お振込の前に事務局までお問い合わせください。

お振込みの前に、
寄付申込書をお送り頂くか、
ご一報くださいますよう
お願い申し上げます。

コラム『一粒の麦』

「今日、明日来るかもしれない災害に備えて、あなたは何をしていますか？」と問うと、ほとんどの人が「3日～1週間分の食料と水と、それから……？」と答えます。これらは、生き残ってこそ役に立つものなので、その前に【怪我をしない・命をおとさない・火事を出さない備え】をすることが大事だということを折に触れ、お伝えしています。

その次に【生き残ってこそ役に立つものの備え】をしておかなければなりません。

それらは家族構成により違いますし、一人ひとりが自分にとって必要なものを決めていくという姿勢が大切です。旅行に行くときに持っていくものが参考になります。

今まで、被災地や被災者に教えられたことは、“顔の見える関係がある所では災害後の立ち上がり早い”ということです。【いざという時に、人のつながりがものをいう】ということは、「いくら装備がハイテクになっても災害対応はあくまでロウテク、人間が被害を受けるのだから、対応するのは人間だということを忘れてはいけない」と言われた河田恵昭先生の言葉を裏付ける事実でした。

ご自分の周りに、SOSを発信できる人がいるかどうかを今一度、確認してみてください。

池上 三喜子(市民防災研究所 理事・東京YWCA福祉会 理事)